



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。  
よろしくお願いいたします。

## ★資料名

「夢」

## ★今回の道徳の授業のねらい

より高い目標に向かって、くじけないで努力しようとする態度を育てる。

## ★お話のあらすじと内容

父親とテレビのプロ野球中継を見て、小学生の「ぼく」は「プロ野球選手になる」という夢をいだきます。その夢の実現のため野球チームに入り練習を重ねます。中学校、高校、大学とさまざまな困難や壁を乗り越え、「ぼく」は野球の力とともに精神的にも成長していきます。活躍が新聞に取り上げられたこともあり、「ぼく」は球団から声がかかるのを待ちますが、スカウトされることはありませんでした。夢をあきらめず、その後も入団テストを受け続けましたが、ついに合格することはありませんでした。

その後、野球とは関係のない仕事に就きますが、野球を通して身につけた心はその仕事の中でも確実に生きていくと実感します。「夢があったからこそ、今のぼくがいて、これからのぼくがある」という言葉で教材は終わります。目標に向かって努力する過程で、人が成長していくことのすばらしさについて考えることができる教材です。

## ★子どもたちの授業で感じたことや振り返り

- ・私は、今、夢が無いけど、中学生になったら夢ができると思えます。その時は、できる限りの力をだして、夢に向かって頑張っていきたいです。
- ・ぼくには夢があるけど、あまり努力してなかったんで、これからは夢に向かって頑張っていきたいと思えました。もっといろいろなことに向き合っていきたいです。

## ★家庭で話し合ってもらいたいこと

子供たちが自分で決めた夢や目標に対してくじけそうになることはよくあります。著名人の生き方に関心を持たせるなど、一步一步くじけず努力を重ねることの大切さ、すばらしさを感じ取らせるとよいかもしれません。他者との戦いではなく自分自身への挑戦であり、努力の過程こそが尊いということを考えさせていきたいものです。チャレンジしている強い気持ちや態度に、機会を見て幾度となく賞賛し、必要に応じた適切なアドバイスをしてくださるようお願いいたします。ご家族の激励と賞賛がお子さんを伸ばします。